

統合市場検討に至る経緯について

1 これまでの経緯の振り返り

日程・項目	主な内容・意見
【令和2年7月～】 経営戦略検討開始 (小田原市卸売市場審議会)	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略策定にあたり、水産市場再整備検討事業において試算した事業費・スケジュールを反映した投資・財政計画とする 審議会委員から「整備期間が長期に亘り、流通構造の変化に対応できない」、「青果市場との統合（物流好立地の内陸移転）も案の一つ」等の意見
【令和3年3月15日】 経営戦略策定中間報告会 (守屋市長、 野見山会長、中川副会長)	<ul style="list-style-type: none"> 学識経験者からは、取扱状況の変化や流通構造の変化等を踏まえた市場のあり方の転換期に差し掛かっており、また物流機能の強化等も必要との意見 市長からは、産業構造の変化を全体で捉え、青果・水産の将来を見据えた議論が必要との発言
【令和3年6月】 小田原市議会 6月定例会一般質問	<ul style="list-style-type: none"> 青果市場の今後の方向性について次のとおり答弁 「水産市場再整備の検討状況を踏まえ、青果市場のあり方検討を始めてまいりたい」 「今後の社会情勢の変化を見据えた市場機能のあり方を検討する観点から、卸売市場再編の可能性も研究してまいりたい。」
【令和3年7月14日】 経営戦略答申 (小田原市卸売市場審議会)	<ul style="list-style-type: none"> 卸売市場審議会から小田原市長あて答申 答申の付帯意見については、2のとおり

2 小田原市公設地方卸売市場事業における経営戦略の策定について(答申)(抜粋)

第2 付帯意見

次の内容を意見として付します。

1 近年の生鮮食料品の流通を巡っては、**卸売市場に期待される機能や役割が一層多様化している反面、卸売市場経由率の低下や取扱金額の減少等の状況にある**など、卸売市場を取り巻く情勢は厳しいものとなっている。また、**新型コロナウイルス感染症の影響により消費者の消費行動や生鮮食料品を含む流通構造が急速に変化している**。このような中、**水産市場の再整備検討が先行して進んでいるが、青果市場については今後のあり方の検討すら行われていない状況**である。

このため、今後の社会情勢の変化を見据え、**青果市場のあり方検討に早期に着手するとともに、本市の特性を踏まえつつ卸売市場全体のあり方について検証することが必要**と考える。